

更生保護女性会の「愛の募金」のお願い

茨城県更生保護女性連盟

物があふれていながらも、むしろ多くの人々の心をさびしさや苦しさが覆う現代社会…。その中で私たちにできることはどのようなことでしょうか。

更生保護女性会は、自発的に組織されたボランティア団体として、現代に生きる人々をみつめ、犯罪や非行、ひきこもりや虐待、薬物への耽溺などの行為に向かってしまう人たちの再出発を助けたいと活動を続けています。

この「愛の募金」は、犯罪した人の更生支援や青少年の健全育成を行う地域の諸団体に金品を寄贈して、そこで生活する人の歩みを応援するなどのために、広く地域の方々のご芳志を募るものです。

公的な制度の中では補いきれない細やかな心配りにつながる募金として、是非とも皆様の温かいご支援をお願いいたします。

愛の募金の歩み

- 昭和52年 県内21地区となった更生保護女性会の統一研修の場で愛の図書寄贈と募金活動が決定された。
- 昭和53年7月 “社会を明るくする運動” 月間に良書を贈る募金活動を実施し、翌年、水戸刑務所、茨城農芸学院、水府学院、有光苑の4施設に第1回良書の贈呈を行った。
- 昭和56年 募金活動を「愛の募金」と改称し、良書の他に教育資材や衣類などを施設に寄贈することとした。
- 昭和63年 寄贈先に、茨城学園、水戸少年鑑別所、福祉相談センターなどが加わり8施設となった。
- 平成22年 その前年からスタートした「ほっとけない運動」の一環として、茨城ダルク、茨城ダルク家族会、チャイルドラインいばらき、自立援助ホームシオン、茨城依存症回復支援協会（IARSA）などに拡大し贈呈する。

平成4年に少年院に寄贈した「母と子」のブロンズ像



お問い合わせは、お近くの更生保護女性会会員または……………

茨城県更生保護女性連盟事務局

〒310-0061 水戸市北見町1-1 水戸保護観察所内

電話 **029-221-3970**

更生保護女性会の

愛の募金

— やり直しを応援するために —

茨城県更生保護女性連盟
更生保護女性会

愛の募金は、このように生かされています……。

次代を担う青少年の健全な育成のために、また、過ちに陥った人たちの立ち直りを支援するために地域の皆様からいただいた浄財を大切にに使わせていただいております。

矯正施設に収容されている人を励ますために

県内にある水戸刑務所、水府学院（少年院）、茨城農芸学院（少年院）に収容される人たちに、日常使用する物品などを購入して差し上げて、その立ち直りを励ましています。

例えば、水戸刑務所受刑者の人たちへは運動着や所内運動会の賞品等を、少年院である水府学院と茨城農芸学院の院生たちには運動靴や学用品などを、水戸少年鑑別所の収容少年たちには教育ビデオや学習参考書等の図書をそれぞれ贈呈してきました。



寄贈先施設から (水府学院)

新春から桜も咲きそろそろまでの期間、少年たちは長距離走のトレーニングに励みます。少年たちは、「愛の募金」で皆様からいただいたランニングシューズを履き、温かいご支援を感じながら自らの限界への挑戦と更生という目標に向かって全力で走っています。種々の問題を抱えた少年自らの「育ち直し」を支えていく上で、皆様のお力添えは何よりでございます。



子どもの福祉の向上のために

児童相談所一時保護所や県立の児童自立支援施設である茨城学園で生活する子どもたちを励ますための物資を贈っています。

例えば、児童相談所を運営する茨城県福祉相談センターには将棋、ゲームなどの娯楽用具を、茨城学園には体育祭用のテント等を寄贈してきました。児童自立援助ホームである「シオン」（定員6名）に対しては、児童の教育補助費を贈っています。

寄贈先施設から (茨城県福祉相談センター)

今年度も心温まるご寄付を頂戴いたしました。これにより、図書類・DVD・ゲームソフト等を購入し、その一つ一つを職員が子ども達と一緒に楽しむことで、不安定な時期にある子ども達を支え励ますことが出来たのではないかと考えています。心から感謝申し上げます。



更生保護施設入所者の自立を支援する

更生保護施設「有光苑」で刑事施設釈放後の生活を送っている寮生たちの自立を支援するための助成を行っています。「有光苑」は、ひたちなか市にある男子（成人・青少年）の更生保護施設で、刑務所等を釈放されても行き場のなかった人たちが入所し、働いて資金を貯めて自立を目指します。「愛の募金」は、この寮生たちの生活用品の購入や、自立準備の費用に生かされています。



その他の民間団体の活動の支援

そのほか、大切な活動をしていながら運営費の公的負担に乏しい次の民間団体に、運営費の助成を行っています。各団体からのお便りの一部をご紹介します。

子ども電話相談チャイルドラインいばらきを運営する「NGO未来の子どもネットワーク」



「貴重な貴団体資金を子ども福祉活動費にとご寄付頂きました事本当にありがとうございます。電話の向こう側にいる子どもたちが、見ず知らずの人にしか話せない思いや心を、皆様のご好意や思いもしっかり抱えて、子どもたちの声から聴いていきたいと思っております。当団体も貴団体さまのご活躍を楽しみに活動していきますので、今後ともよろしくお願ひします。」（お便りから）

共同生活を行いながら薬物依存からの回復を目指す自助団体「茨城ダルク今日一日ハウス」

「施設には18歳から67歳までの35名の男性が生活し、薬物依存からの回復プログラムに取り組んでいます。市販薬、向精神薬、シンナー、大麻、覚醒剤等の薬物を止め続け、自立を目指します。愛の募金では、プログラムで使用する愛泉太鼓の太鼓を購入させていただきました。茨城ダルク一同感謝しています。ありがとうございました。」（お便りから）



薬物依存の人の回復を願う家族の会「茨城ダルク家族会」

「茨城ダルク家族会は、薬物依存の家族に二度と同じ過ちを繰り返してほしくない、そんな思いで毎月の勉強会を開催しています。愛の募金に本当に支えられました。有効に使わせて頂きます。」（お便りから）



更生保護女性会の活動に

そのほか、募金の一部を更生保護女性会の会員研修、広報資料の作成費などに充当させていただいております。